

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成30年度)

調査表

| | |
|-------|----------------------|
| 施設名 | 御池青少年自然の家 |
| 指定管理者 | 学校法人宮崎総合学院 |
| 指定期間 | 平成26年4月1日～平成31年3月31日 |
| 県所管部課 | 福祉保健部こども政策局こども家庭課 |

1 施設利用状況

| 指標 | H30 | H29 | H28 | 増減理由等 |
|----------|---|--------|--------|---|
| 利用団体数(件) | 362 | 335 | 375 | 平成30年度は、少年団体の利用者や施設主催事業の参加者が増加したことにより、延利用者数が増加した。 |
| 延利用者数(人) | 35,161 | 31,460 | 35,247 | |
| コメント | 前年度は、新燃岳や硫黄山の火山活動により利用者が減少したが、利用者の安全確保を第一に運営する姿勢を前面に打ち出し、施設独自の防災を視点とした取組をPRするなどした結果、利用団体、利用者数ともに増加した。 | | | |

2 施設収支状況

(単位:千円)

| 収入 | H30 | H29 | H28 | 支出 | H30 | H29 | H28 |
|-----------|--------------------------------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|
| 指定管理料 | 78,171 | 78,171 | 78,171 | 人件費 | 42,152 | 42,574 | 42,626 |
| 利用料金収入 | 1,033 | 1,124 | 1,358 | 光熱水費 | 4,520 | 4,695 | 5,303 |
| その他収入 | 1,145 | 1,264 | 1,330 | 外注費 | 13,940 | 13,972 | 12,992 |
| | | | | その他 | 19,688 | 19,262 | 19,845 |
| 合計(①) | 80,349 | 80,559 | 80,859 | 合計(②) | 80,300 | 80,503 | 80,766 |
| 収支差額(①-②) | 49 | 56 | 93 | | | | |
| コメント | 効果的・効率的な事業及び運営実施により、良好な決算となった。 | | | | | | |

3 管理運営状況

※下線部分は、平成30年度に新たに組み込んだ内容

| 事項 | 実施内容 | |
|--------|--|--|
| 維持管理業務 | 清掃 | 日常清掃、特別清掃(年4回ガラス・ワックス清掃等) |
| | 保守・点検 | 給湯設備維持管理(年4回)、消防用設備点検(年2回)、衛生害虫駆除(年2回)、水質検査等 |
| | 警備 | 夜間警備(毎日) |
| | 修繕 | 浄化槽ブロウ取替、浄化槽フェンス修繕、運動広場倒木処理他工事、宿泊棟畳表替え |
| | 備品等管理 | 備品点検・備品修繕(随時) |
| | 安全対策 | 危機管理マニュアル整備、食物アレルギー対応マニュアル整備、安全点検(随時) |
| | その他 | |
| 企画運営業務 | サービス提供体制整備 | 年中無休化、利用者アンケートの実施(毎月)、御池青少年自然の家運営協議会の開催 |
| | イベント等ソフト面充実 | 主催事業の内容の充実、ホームページの充実 |
| | 施設設備等ハード面充実 | AED設置、送迎バスの運行 |
| | その他 | |
| 管理運営体制 | 職員研修の充実 | |
| コメント | 適正な管理運営が行われており、運営面の実地調査結果でも、特に指摘する事項はない。 | |

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

| 調査等方法 | 利用団体に対するアンケート調査及び利用団体からのヒアリングの実施 | |
|-----------------------|----------------------------------|--|
| 調査結果、主な苦情・要望内容 | その対応結果等 | |
| 研修内容、職員の対応については好評である。 | 職員の質的向上のための研修の一層の充実を図る。 | |
| 防災を視点とした研修活動が好評である。 | | |

5 総合評価

| | |
|----------|---|
| 評価コメント | 施設ならではの防災を視点とした研修活動の実施により、安心安全な施設及び研修内容であることが浸透しつつある。職員の資質向上とともに、目的に即した適正な管理運営がなされている。 |
| 今後の課題と対応 | 今後とも、新燃岳、硫黄山の最新の火山活動の情報に留意し、研修活動を実施していく必要がある。また、学校の利用者が減少していることから、利用者に安心・安全な施設運営が行われていることを一層理解いただくため、広報等の充実を図り、利用者の確保に努めていく必要がある。 |